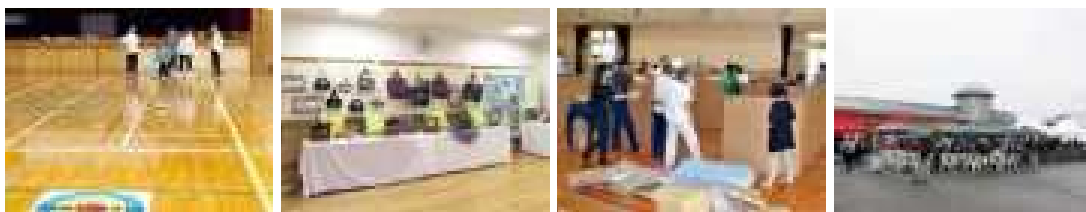


# 地域コミュニティ協議会 三本松地区活性化協議会

本市では、地域コミュニティ協議会を中心に、地域と行政の協働による地域の課題解決やまちづくり活動を推進しています。



2018年6月

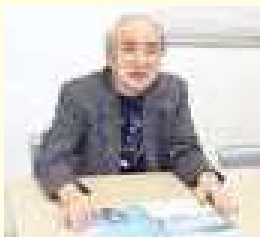


市内にある8つの各地域コミュニティ協議会の活動を順次紹介します。今回は、三本松地区に設立されている「三本松地区活性化協議会」の活動を紹介しします。

## 三本松地区活性化協議会(協議会の紹介)

三本松地区活性化協議会は、平成27年5月に「地域の課題は地域で解決する」をテーマに設立され、南海トラフ地震に備えた防災対策、旧三本松小学校跡地の利活用など、地域住民が主体となって、地域の課題解決に向けて活動しています。

今後、多目的ホール(旧体育館)の改修やコミュニティセンター別館が整備される予定があり、これからの活動の拠点として活用し、市との協働により、さらなる地域活動の発展に向けて活動していきます。



### 田中 好 会長からひとこと

三本松は、東讃で一番の商業地区で多くの集客をしていましたが、現在は、空き店舗が目立ち、後継者不足などが課題となっています。協議会では、これから起こるかもしれない南海トラフ地震に備え、被害を最小限に抑えるために防災活動を積極的に行っています。今後、子ども英会話教室やeスポーツ事業などを実施する予定であり、幅広い世代の人たちが集まれる場を作りたいと考えています。

次の掲載予定は、1月に「五名活性化協議会」です。

### 問合せ先

三本松活性化協議会 TEL 25-4744  
協議会ホームページURL  
<https://sanbonmatsu.jp/>



2018年11月

世代間交流のふるさと事業(ふるさと事業部)



月3回のペースで、各世代の愛好家が集い、囲碁、将棋、オセロ、麻雀などを楽しみながら、親睦を深め、世代間の交流を行っています。現在は、毎回10人程度が参加し、楽しい時間を過ごしています。今後も、参加者が増え、さらなる交流が図れるように取り組んでいきます。

防災事業(防災事業部)



大規模巨大地震津波災害発生を想定した三本松地区の防災計画の策定を進めており、防災マップや避難所運営マニュアルなどの作成のほか、毎年防災訓練を開催しています。

ドローン体験教室(ドローン事業部)



年2回程度、児童を対象に、体育館内での安全で高性能な小型ドローン操縦の体験教室を行い、正しい技術を習得し、最先端ドローンを気軽に知ってもらい、少しでも興味を持ってもらえるように行っています。

くらげ 海月食堂(ふれあい事業部)



毎月第1日曜日、地域内の各婦人部が中心となって1食500円のランチを限定30食準備しています。住み慣れた地域で、人と人の繋がりを創り出し、住民主体による地域支え合いの仕組みづくりに向けた取り組みを行っています。

ちょっとしためんでか〜三本松(福祉事業部)



三本松地区でいつまでも安心して暮らし続けられる地域づくりを目指し、本年1月から、ちょっとした暮らしのお困りごとを気楽にお手伝いし、お互いさまの支え合いである「ちょっとしためんでか〜三本松」を活動しています。私たちは、プロではありませんが「誰かのお役に立ちたい」との思いを持っている人と「ちょっと頼みたい」と願う人を繋ぎ、お互いが元気になれる活動を応援しています。多くの人のご利用をお待ちしています。

三本松ウォーク(街づくり事業部)



2018年の三本松ウォークのようす

年2回、春と秋にコースを変えて、三本松ウォークを実施しています。昨年11月には、参加者全員が、三本松の寺社祠を巡りながら歩き、ウォーク後には、全員で畑での芋ほり大会を実施し、普段できない体験をしました。“ウォークに参加し、さわやかな汗をかきましょう”